ももの里温泉改築工事（外構）

設　計　図

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	SCALE
G-00	図 面 リ ス ト	N:S
G-01	特記仕様書①	N:S
G-02	特記仕様書②	N:S
G-03	外構平面図①　（建築）	1:200
G-04	外構平面図②　（電気・機械）	1:200
G-05	外構詳細図①　Ⓐa ～ Ⓔ　Ⓞ ～ Ⓠ　Ⓩ	1:20
G-06	外構詳細図②　Ⓕ ～ Ⓗe	1:20
G-07	外構詳細図③　Ⓗf ～ Ⓗg　A ～ A’断面図	1:20
G-08	外構詳細図④　Ⓘ ～ Ⓚ	1:20　1：40
G-09	外構詳細図⑤　Ⓙ	1:20　1：40
G-10	外構詳細図⑥　Ⓜ	1:30
G-11	外構詳細図⑦　Ⓛ ～ Ⓝ　A 外灯	1:30

TITLE	もの里温泉改築構工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	図面リスト	SCALE	N：S	CHECK	

No. G 00

もの里温泉改築工事（外構）

仕様書

Ⅰ　工事概要

敷地所在地	山梨県笛吹市一宮町金沢387番地1
都市計画区域	都市計画区域内　非線引き
敷地面積	2767.00 ㎡
工事の種類	外構工事
工事種目	図示の内容全て

Ⅱ　工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2	仮設工事	工事範囲全て
3	土工事	工事範囲全て
4	地業工事	工事範囲全て
5	鉄筋工事	工事範囲全て
6	コンクリート工事	工事範囲全て
7	ユニット及びその他工事	工事範囲全て
8	排水工事	工事範囲全て
9	舗装工事	工事範囲全て
10	植栽工事	工事範囲全て
11		
12		
13		

Ⅲ　建築工事仕様

1. 共通仕様
   (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。
2. 特記仕様
   (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
   (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
   　○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
   　○ 印と ※印の付いた場合は、共に適用する。
   (3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
   (4) 特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
   (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
   (6) Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版） ・工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	② 工事実績情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	③ 施工計画書	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※風速（Vo=　　） ※地表面粗度区分（ Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・ ） ・積雪区分　建告示第1455号　別表（　）
	4 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3) ・要　　・不要
	⑤ 施工条件	工事着手については監督職員と協議し着手する。　(1.3.5) 仮設計画は別途工事施工業者と調整のうえ監督員の承諾を得ること。
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による　・構外搬出適切処理　(1.3.8)
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	建築材料の使用制限 建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上げ材共にＦ☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受け（Ｆ☆☆☆☆のものを採用するを含む）使用すること。
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定の職種 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋施工（鉄筋組立て作業） コンクリート工事 ／ ⊙型枠施工 鉄骨工事 ／ ・とび ブロック・ALCパネル工事 ／ ・ブロック建築　・ALCパネル施工 防水工事 ／ ・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業 石工事 ／ ・石材施工（石張り施工） タイル工事 ／ ・タイル張り 木工事 ／ ・建築大工 屋根及びとい工事 ／ ・建築板金（内外装板金作業） 金属工事 ／ ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事 ／ ⊙左官 建具工事 ／ ・サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工 カーテンウォール工事 ／ ・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事 ／ ・塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業） 舗装工事 ／ ⊙舗装 植栽工事 ／ ⊙造園
	11 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの５物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し測定結果報告書を監督員に提出すること。（測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。）(5.9) 測定対象科学物質 ／ 厚生労働省の指針値（25℃の場合） ホルムアルデヒド ／ 0.08 ppm（ 100μg／m³） トルエン ／ 0.07 ppm（ 260μg／m³） キシレン ／ 0.20 ppm（ 870μg／m³） エチルベンゼン ／ 0.88 ppm（ 3,800μg／m³） スチレン ／ 0.05 ppm（ 220μg／m³） 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　・全居室 測定箇所数　・図示　・１２箇所(監督員の指示による) 測定結果の報告
	⑫ 完成図等	※作成する　・作成しない　(1.7.1～3)（表1.7.1） ※完成図　提出部数　※各3部　・　部（A2、A3版2つ折製本各3部） ※施工計画書　提出部数　※1部　・　部 ※施工図　提出部数　※1部　・　部 ※保全に関する資料　提出部数　※1部　・　部　（電子媒体（CD-R）） ⑬ 完成写真 下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 原板の大きさ（mm） ⊙カラー ※キャビネ版 ／ 外部（10）内部（　） ／ ※2 ⊙3 ／ ※100×125以上 ・カラー半切木製パネル 324×400（mm） ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2 ⊙電子データ ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2 ／ ※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）
	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮ 設計ＧＬ	※図示　・現況ＧＬを設計ＧＬとする
	⑯ 工事写真	・「営繕工事電子納品要領（案）（最新年度版）」による。
	⑰ その他	・それぞれの工事業者との工事の取り合い調整を図り、十分協議の上施工すること。
2 仮設工事	1 監督職員事務所	※設ける　(2.3.1) 規模　・１号　・２号　・３号　・４号　・５号 ・設けない ・備品（必要備品は適宜設置）
	② 工事用水	構内既存の施設　(2.3.1) ・利用できる（ ※有償 ・無償 ）　※利用できない
	③ 工事用電力	構内既存の施設　(2.3.1) ・利用できる（ ※有償 ・無償 ）　※利用できない
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ
	② 建設発生土の処理	※現場説明書による　(3.2.5) ・構外搬出適切処理　・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し
4 地業工事	① 砂利地業	※再生クラッシャラン Ⓖ　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.3)
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	(5.2.1)（表5.2.1） 種類の記号 ／ 呼び名（mm） ⊙ SD295A ／ ※D16以下 ・ ・ SD345 ／ ※D19以上 ・
	② 鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)
	③ 鉄筋の最小かぶり厚さ	※最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) ⊙耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 ／ 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） ・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ／ ※10 ・
6 コンクリート工事	① 普通コンクリートの設計基準強度	(6.2.2) 設計基準強度Ｆｃ（N/mm²） ／ 施工箇所 ⊙ 21 ⊙18 ／ 土間コンクリート、工作物、捨コンクリート
	② レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.2.1)（6.4.1～2）（表6.2.1）

TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	特記仕様書①	SCALE	N:S	CHECK	

No. G 01

③ セメントの種類　(6.3.1)　(6.13.2)　(表6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種
・高炉セメントＢ種　Ⓖ　（・　　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7ｄ	352Ｊ／ｇ以下
	28ｄ	402Ｊ／ｇ以下

⑤ 骨材の種類　アルカリシリカ反応による区分　(6.3.1)　(6.5.4)

※Ａ
・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Ｒｔ=3.0kg/m^{3}以下）

⑥ 混和材料　混和材　仕様箇所　屋外タタキ部分を除く全体：コンクリート躯体防水剤
躯体軸部：高性能AE減水材

⑦ 無筋コンクリート　設計基準強度　※18Ｎ/mm^2　(6.14.3)

7 ユニット及びその他工事

① フェンス

・ ガードフェンス	・ ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙ フェンス	⊙ 樹脂塗装メッシュフェンス
⊙ 目かくしフェンス	

※形状は図示

参考型番　AR-A1200-WS　＜朝日スチール工業㈱　同等品＞

参考型番　LVルーバータイプ　H20　＜朝日スチール工業㈱（同等品）＞
門扉(両開き)　H18　＜朝日スチール工業㈱（同等品）＞
eバンブーユニットこだわり竹みす垣　H18　＜㈱タカショー（同等品）＞

2 屋外案内板　・ 図示

③ 四阿　参考型番　ファンデッキSG　ESGB-C2510　＜四国化成建材（同等品）＞
ペタルパーク　PTP-24SC　＜四国化成建材（同等品）＞
ペタルベンチ　PTB-12SC　＜四国化成建材（同等品）＞

③ 駐輪場　参考型番　サイクルポートLIFT LFT-2031 ＜四国化成建材（同等品）＞

8 排水工事

① 排水管

排水管用材料　(21.2.3)　(表21.2.2)　(21.3.1～3.2)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※１種　・２種)	Ｂ形（ゴム接合）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ	
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・ＲＥＰ-ＶＵ Ⓖ	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・ＤＵ	

車道部の排水管の敷設　(21.3.1～2)
※図示
・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

② 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　(21.2.2)

種　類		適用荷重
・水封形	・密閉形（テーパー・パッキン式）	・Ｔ－２用
・簡易気密形（パッキン式）	・中ふた付密閉形	・Ｔ－６用
		・Ｔ－１４用
		・Ｔ－２０用

グレーチングふた　(21.2.2)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	⊙溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
⊙ステンレス製		⊙桝ふた用	・Ｔ－２用	※普通目	※平形
	ボルト固定	・かさ上げ用	・Ｔ－６用		
	※無し	・Ｕ字溝用	⊙Ｔ－１４用	・細目	・凹凸形
	・図示		・Ｔ－２０用		

③ 埋戻し土　※Ｂ種　・　(21.2.3)　(表3.2.1)

4 浸透管及び浸透桝　製造所

9 舗装工事

① 盛り土に用いる材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(22.2.3)　(表22.2.1)

② 遮断層及び凍上抑制層の材料

・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・　(22.2.2～3)
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
厚さは図示
・フィルター層　※透水性舗装　車道部150mm・歩道部50mm　(表22.2.1)

③ 路床安定処理　※添加材料による安定処理　(22.2.2～3)　(表22.2.2)
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種　・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg/m^3（目標ＣＢＲ　※5以上　・　　）

④ 路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　(22.2.5)

⑤ 路床締固め度の試験　※行う　(22.2.5)

⑥ 路盤材料　※再生クラッシャラン（RC-40）　(22.3.3)
・クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

⑦ アスファルト舗装　(22.4.2)　(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　⊙有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト Ⓖ　・ストレートアスファルト　(22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)　(表22.4.4)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　）　(22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.4.6)

8 コンクリート舗装

早強セメント　※使用しない　・使用する　(22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ　(22.5.3)　(表22.5.3)

溶接金網　※有り　・無し　(22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う　(22.5.6)

9 透水性アスファルト舗装

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.7.4)　(22.7.6)

⑩ 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・１種 Ⓖ	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して 5%以下
・１種 Ⓖ	加熱					
⊙３種１号	溶融	粉体状				

10 植栽工事

① 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類　(23.2.2～3)　(表23.2.1～2)

適　用	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20	※Ｂ種	※植栽範囲　・図示

樹木　(23.2.2～3)　(表23.2.1～2)

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
・12以上	※100　・	※Ａ種	⊙葉張りの範囲
・7超～12未満	※80　・	・Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60　・	・Ｃ種	・図示
⊙3以下	※50　・	・Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

② 植込み用土　※現場発生土の良質土　⊙客土（※畑土　・黒土）　(23.2.3)

3 土壌改良材　※適用する　(23.2.3～4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

バークたい肥

有機物の含有量（乾物）	：70%以上
炭素窒素比（C/N比）	：35以下
陽イオン交換容量（乾物）	：70meq/100g以上
pH	：5.5～7.5
水分	：55～65%
幼植物試験の結果	：生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物）	：0.5%以上
りん酸全量（現物）	：0.2%以下
加里全量（現物）	：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する

原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

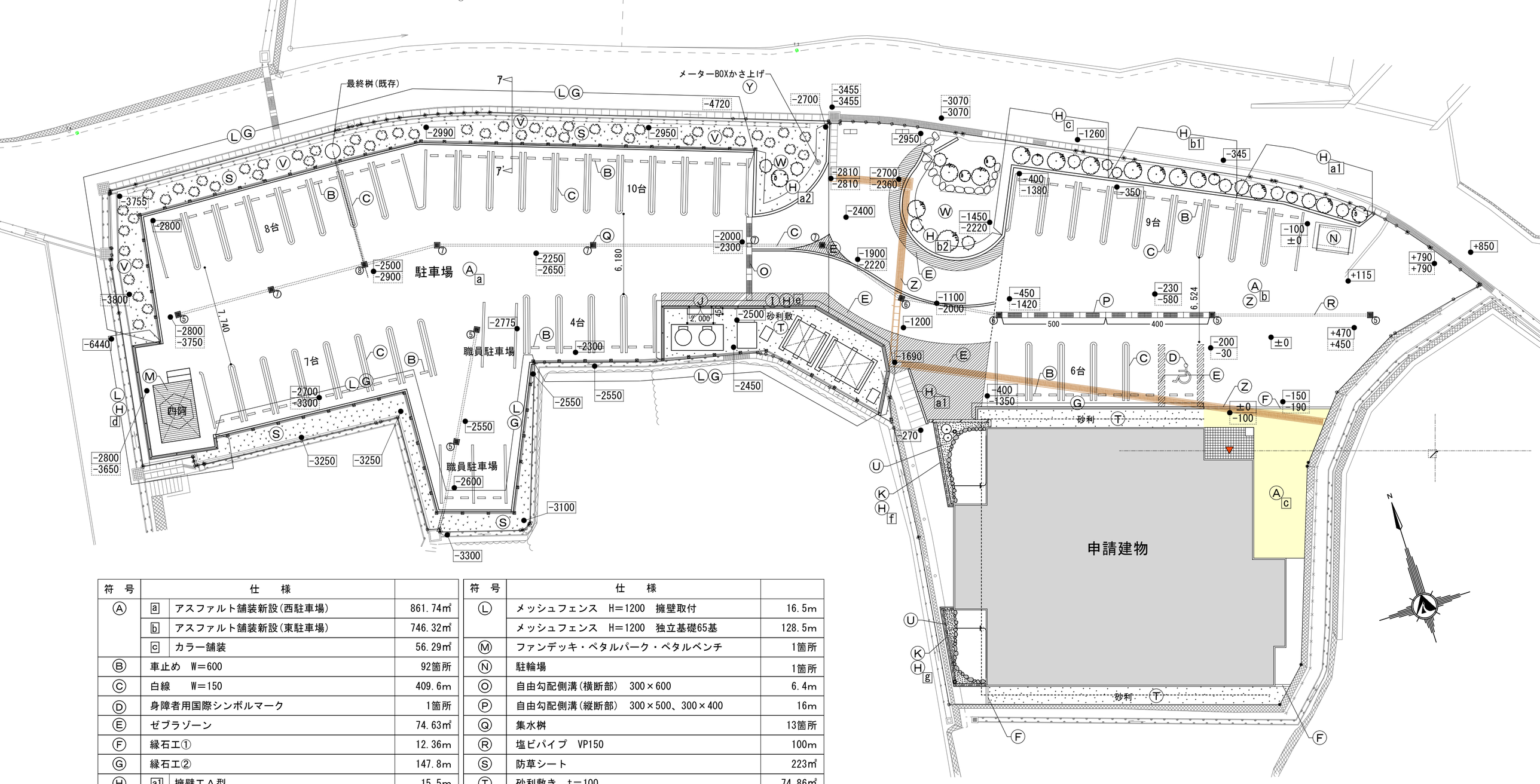
ひ素	：0.005%以下
カドミウム	：0.0005%以下
水銀	：0.0002%以下
ニッケル	：0.03%以下
クロム	：0.05%以下
鉛	：0.01%以下
有機物の含有量（乾物）	：35%以上
炭素窒素比（C/N比）	：20以下
pH	：8.5以下
水分	：50%以下
窒素全量（現物）	：0.8%以上
りん酸全量（現物）	：1.0%以上
アルカリ分（現物）	：15%以下

4 支柱材　※杉の焼丸太（間伐材）Ⓖ　・真竹　(23.3.2)

⑤ 幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　(23.3.2)

⑥ 芝張り　種類　・こうらい芝　⊙野芝　(23.4.2)

7 屋上緑化　屋上緑化システム Ⓖ　(23.5.2)
・管理方法による区分　・省管理型
質量の上限値　（　　）kg/m^2
かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能：240ｌ/m^2・ｈ以上
耐荷重性能
省管理型：3×10^4 Ｎ/m^2 以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料　(23.5.3)
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土　製造所の仕様による
植栽の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　・管理型

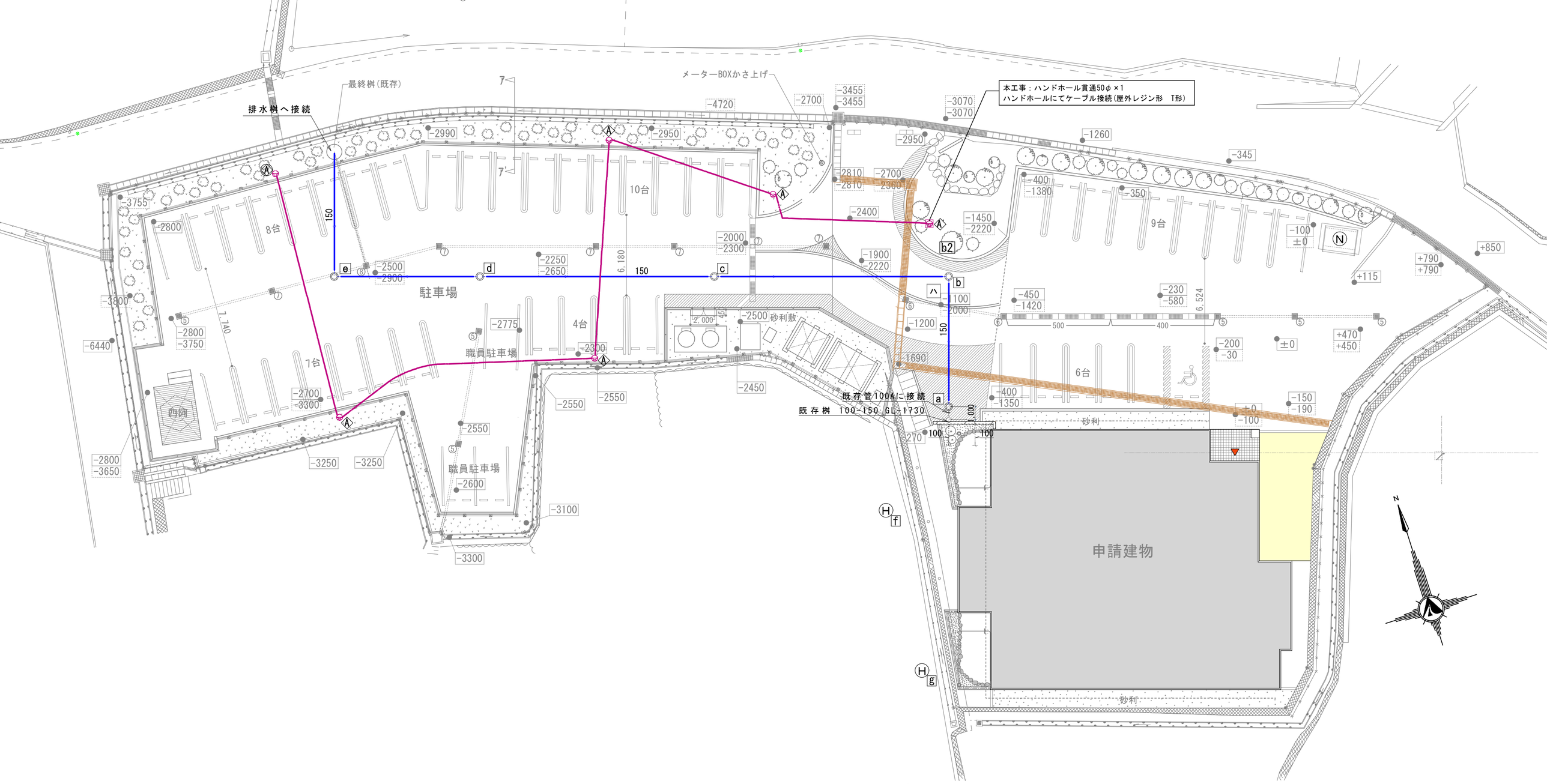


符号		仕様	
Ⓐ	a	アスファルト舗装新設(西駐車場)	861.74㎡
	b	アスファルト舗装新設(東駐車場)	746.32㎡
	c	カラー舗装	56.29㎡
Ⓑ		車止め　W=600	92箇所
Ⓒ		白線　　W=150	409.6m
Ⓓ		身障者用国際シンボルマーク	1箇所
Ⓔ		ゼブラゾーン	74.63㎡
Ⓕ		縁石工①	12.36m
Ⓖ		縁石工②	147.8m
Ⓗ	a1	擁壁工Ａ型	15.5m
	a2	擁壁工Ａ型　直L=8.6m　R面L=7.1m	15.7m
	b1	擁壁工Ｂ型	10.0m
	b2	擁壁工Ｂ型	15.5m
	c	擁壁工Ｃ型	13.0m
	d	擁壁工Ｄ型	16.5m
	e	擁壁工Ｅ型	27.4m
	f	擁壁工Ｆ型	6.85m
	g	擁壁工Ｇ型	9.29m
Ⓘ		目隠しフェンス　H=2040	25.1m
Ⓙ		門扉(両開き)　　H=1800	1箇所
Ⓚ		竹垣フェンス　　H=1800	16.14m

符号		仕様	
Ⓛ		メッシュフェンス　H=1200　擁壁取付	16.5m
		メッシュフェンス　H=1200　独立基礎65基	128.5m
Ⓜ		ファンデッキ・ペタルパーク・ペタルベンチ	1箇所
Ⓝ		駐輪場	1箇所
Ⓞ		自由勾配側溝(横断部)　300×600	6.4m
Ⓟ		自由勾配側溝(縦断部)　300×500、300×400	16m
Ⓠ		集水桝	13箇所
Ⓡ		塩ビパイプ　VP150	100m
Ⓢ		防草シート	223㎡
Ⓣ		砂利敷き　t=100	74.86㎡
Ⓤ		玉砂利(白)	7.6㎡
Ⓥ		ツツジ　H=400	50本
Ⓦ	a	中木 H=1500	5本
	b	中木 H=2500	3本
	c	高木 H=3000	1本
Ⓧ		既存石積み補強	1式
Ⓨ		メーターBOXかさ上げ	1箇所
Ⓩ		アスファルト舗装撤去	637.89㎡
		縁石撤去	28.2m
		排水桝撤去　蓋共	1箇所
		排水溝撤去　蓋共	56.63m

TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構平面図①	SCALE	1：200	CHECK	

No. G 03



配線凡例

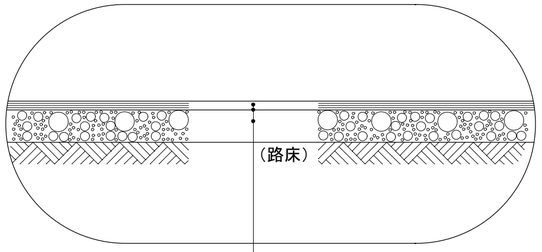
——·——·——	EM-CE5.5°-3C(FEP30)
◇A	外灯
(◇A は建築工事)	

番号	名称	種別	大きさ	平均地盤高さ(設計GL±)	管底高さ(設計GL±)	区間距離	蓋仕様	蓋寸法	備考
既存	排水桝	塩ビ桝	200φ		-1,730		塩ビ	200φ	
a	排水桝	塩ビ桝	200φ	-400	-1,750	1.0	T-25	200φ	
b	排水桝	塩ビ桝	200φ	-1,090	-2,450	10.0	T-25	200φ	
c	排水桝	塩ビ桝	200φ	-2,040	-2,810	18.0	T-25	200φ	
d	排水桝	塩ビ桝	200φ	-2,345	-3,170	18.0	T-25	200φ	
e	排水桝	塩ビ桝	200φ	-2,630	-3,490	13.0	T-25	200φ	
	既存桝			-3,385	-3,650	7.0	T-25	200φ	

TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構平面図②	SCALE	1：200	CHECK	

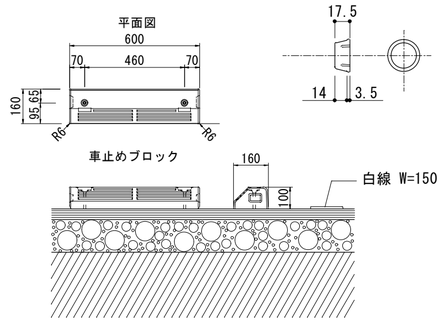
No. G 04

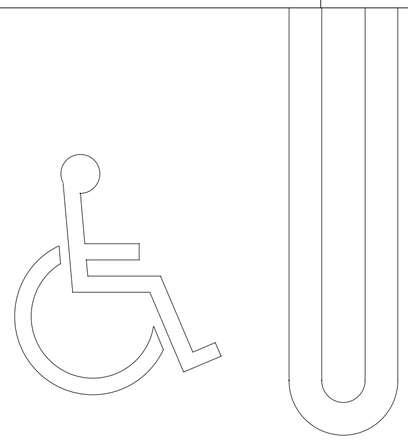
Ⓐa	アスファルト舗装 新設(西駐車場)	【 861.74㎡ 】	S=1：20
Ⓐb	アスファルト舗装 新設(東駐車場)	【 746.32㎡ 】	
Ⓐc	カラー舗装	【 56.29㎡ 】	



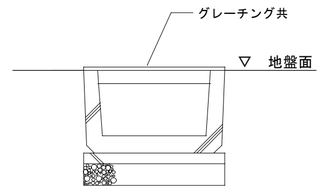
密粒アスコン	t =50
プライムコート PK-3	
路盤 (再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t =150

Ⓑ	車止め L=600	【 92箇所 】	S=1：20
Ⓒ	白線 W=150	【 409.6m 】	
Ⓓ	身障者用 国際シンボルマーク	【 1箇所 】	
Ⓔ	ゼブラゾーン	【 74.63m 】	





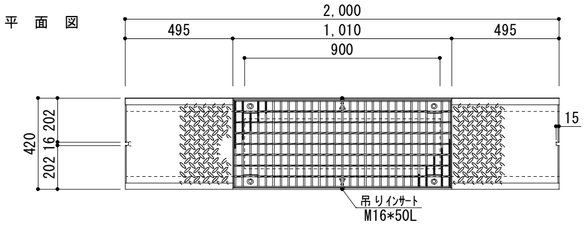
Ⓩ 撤去	アスファルト舗装撤去	【 637.89㎡ 】	
	縁石撤去	【 28.2m 】	
	排水桝撤去 蓋共	【 1箇所 】	
	排水溝撤去 蓋共	【 56.63m 】	



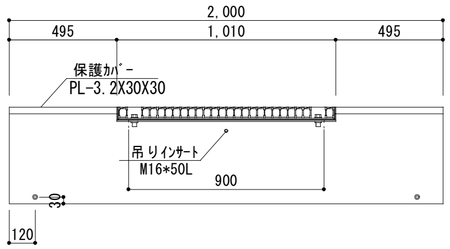
Ⓞ 自由勾配側溝(横断部) S=1：20

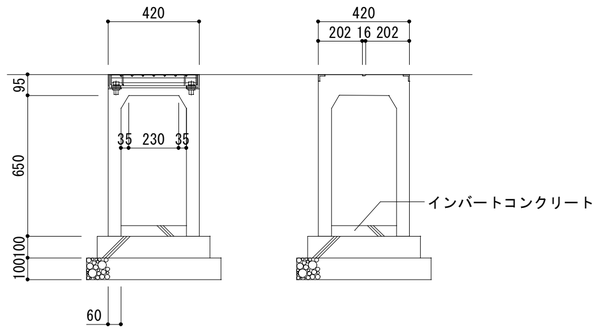
【 6.4m 】
【 3ケ 】

平 面 図



側 面 図

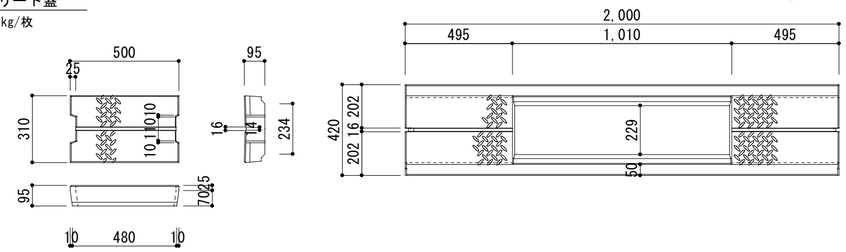




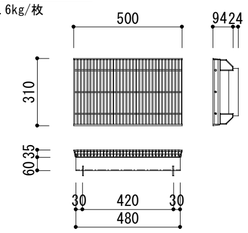
Ⓟ 自由勾配側溝(縦断部) S=1：20

【 16m 】

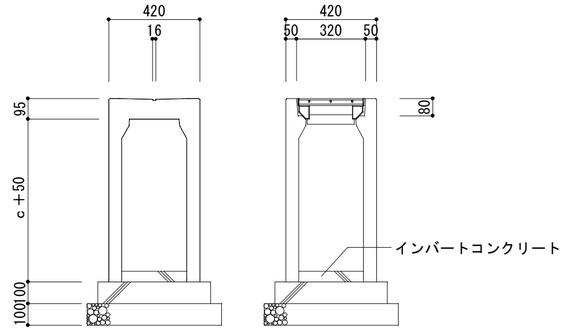
コンクリート蓋
W=31kg/枚



グレーチング蓋
W=15.6kg/枚

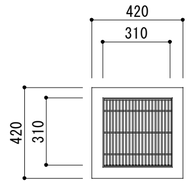


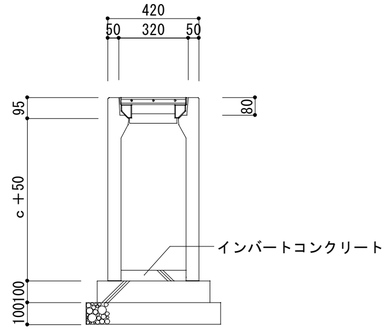
呼び名 (幅a×高c)		各部の寸法(mm) B	H	C1	e	数量(ケ) L=2000
300	300	420	445	95	60	0
	400		545			4
	500		645			4



Ⓠ 集水桝 S=1：20

【 13箇所 】





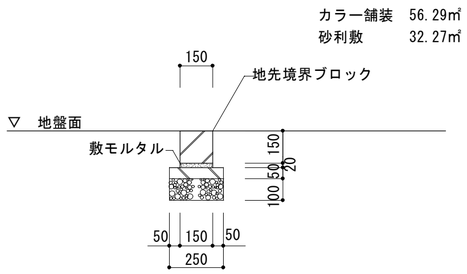
呼び名 (幅a×高c)		各部の寸法(mm) B	H	e	数量(ケ) 420×420
300	500	420	645	60	5
	600		745		2
	700		845		5
	800		945		1

TITLE	もの里温泉改築工事 (外構)	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図①	SCALE	1：20	CHECK	

No. G 05

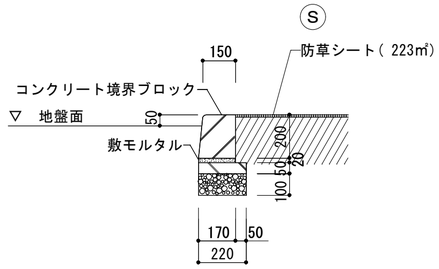
Ⓕ 縁石工①　S=1：20

【 12.36m 】

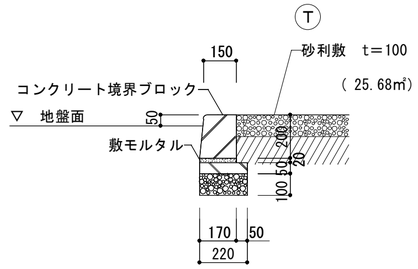


Ⓖ 縁石工②　S=1：20

【 129.4m 】



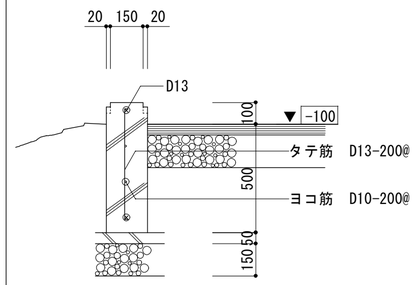
【 18.4m 】



Ⓗa1 擁壁工Ａ型　S=1：20
Ⓗa2 擁壁工Ａ型

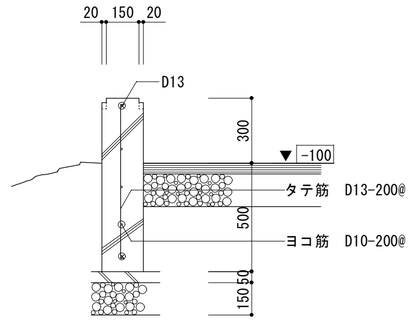
a1
道路・階段

【 15.5m 】



a2

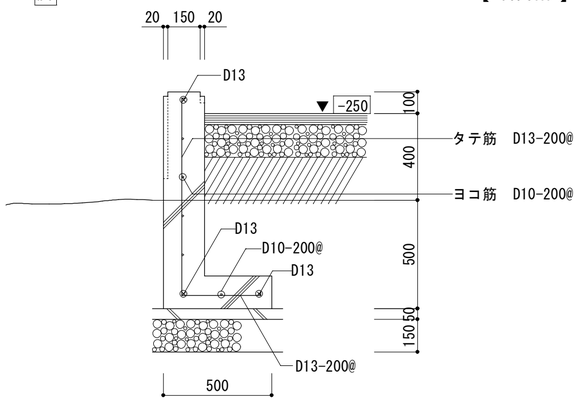
【 15.7m 】



Ⓗb1 擁壁工Ｂ型　S=1：20
Ⓗb2 擁壁工Ｂ型

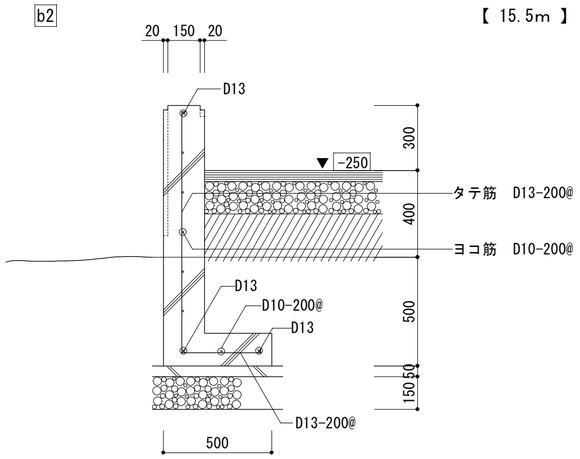
b1

【 10.0m 】



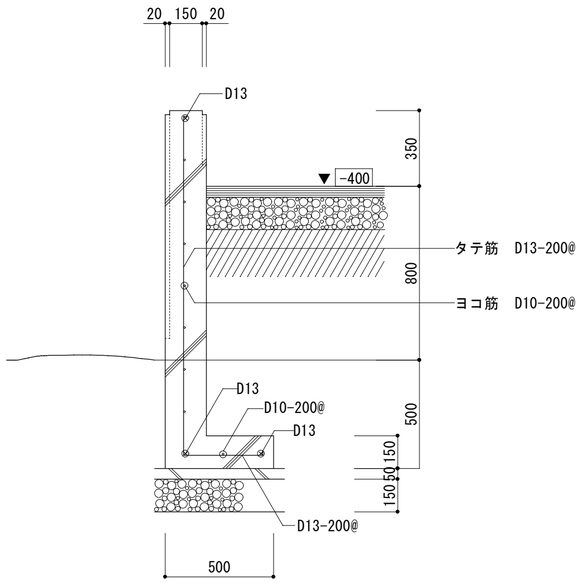
b2

【 15.5m 】



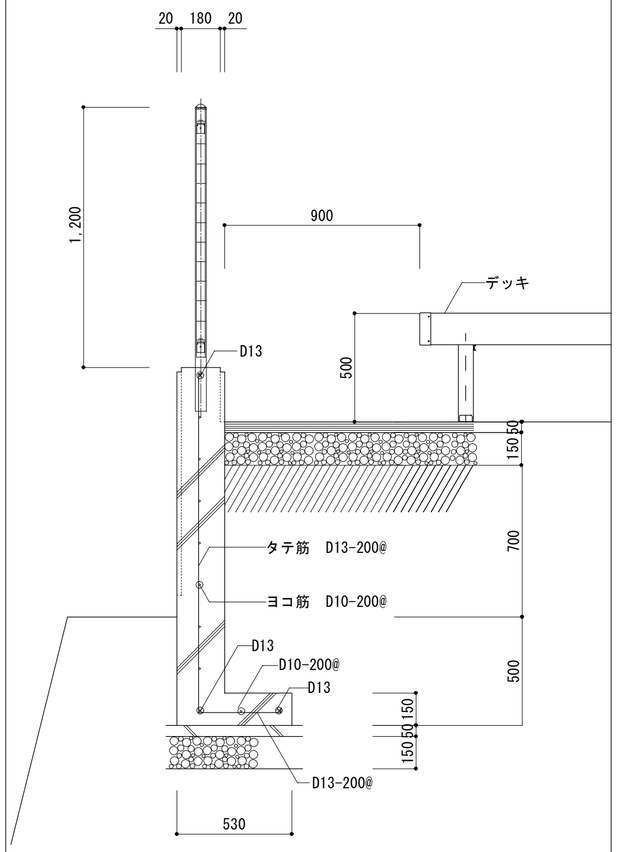
Ⓗc 擁壁工Ｃ型　S=1：20

【 13.0m 】



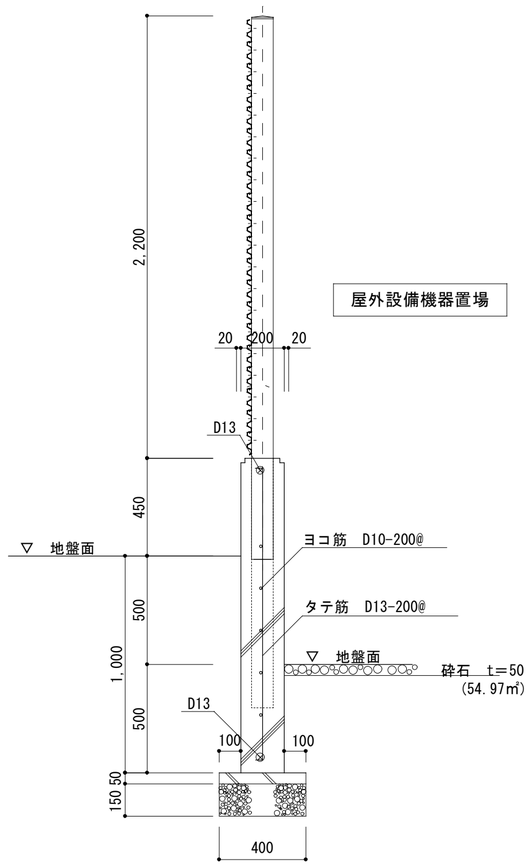
Ⓗd 擁壁工Ｄ型　S=1：20

【 16.5m 】



Ⓗe 擁壁工Ｅ型　S=1：20

【 27.4m 】

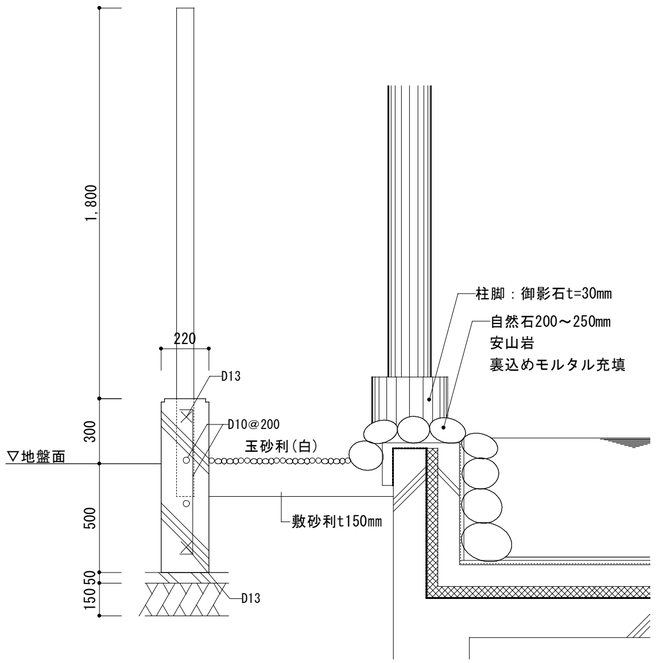


TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図②	SCALE	1：20	CHECK	

No. G 06

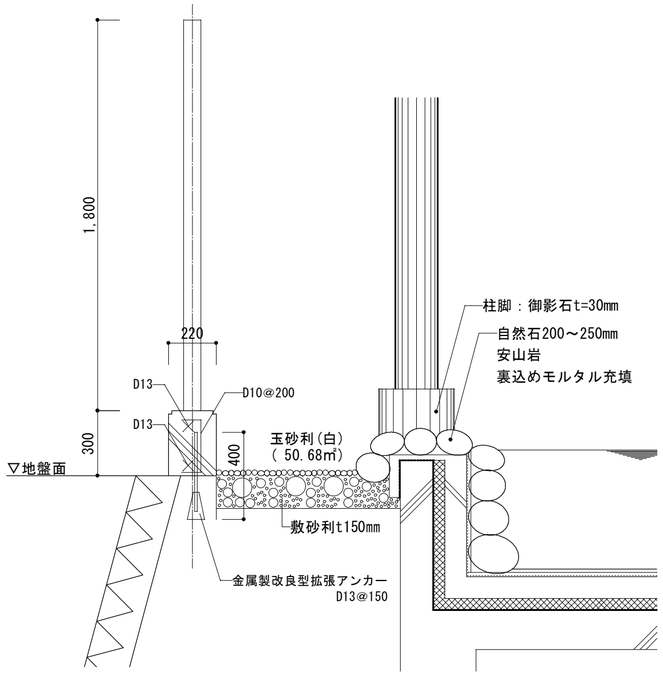
Ⓗf 擁壁工Ｆ型　S＝1：20

【 6.85m 】

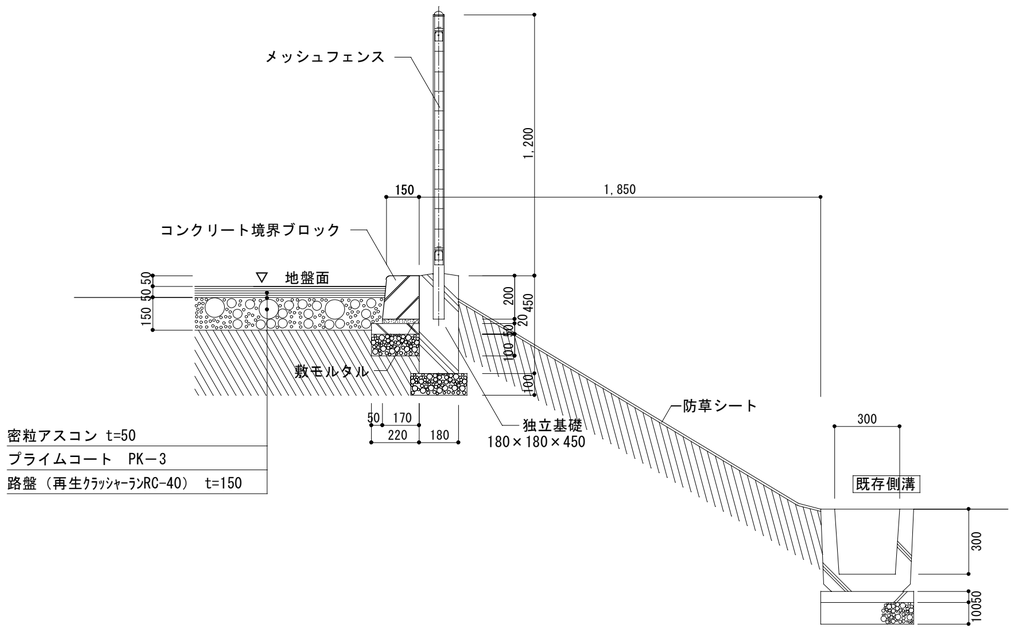


Ⓗg 擁壁工Ｇ型　S＝1：20

【 9.29m 】



ｱ～ｱ' 断面図　S＝1：20



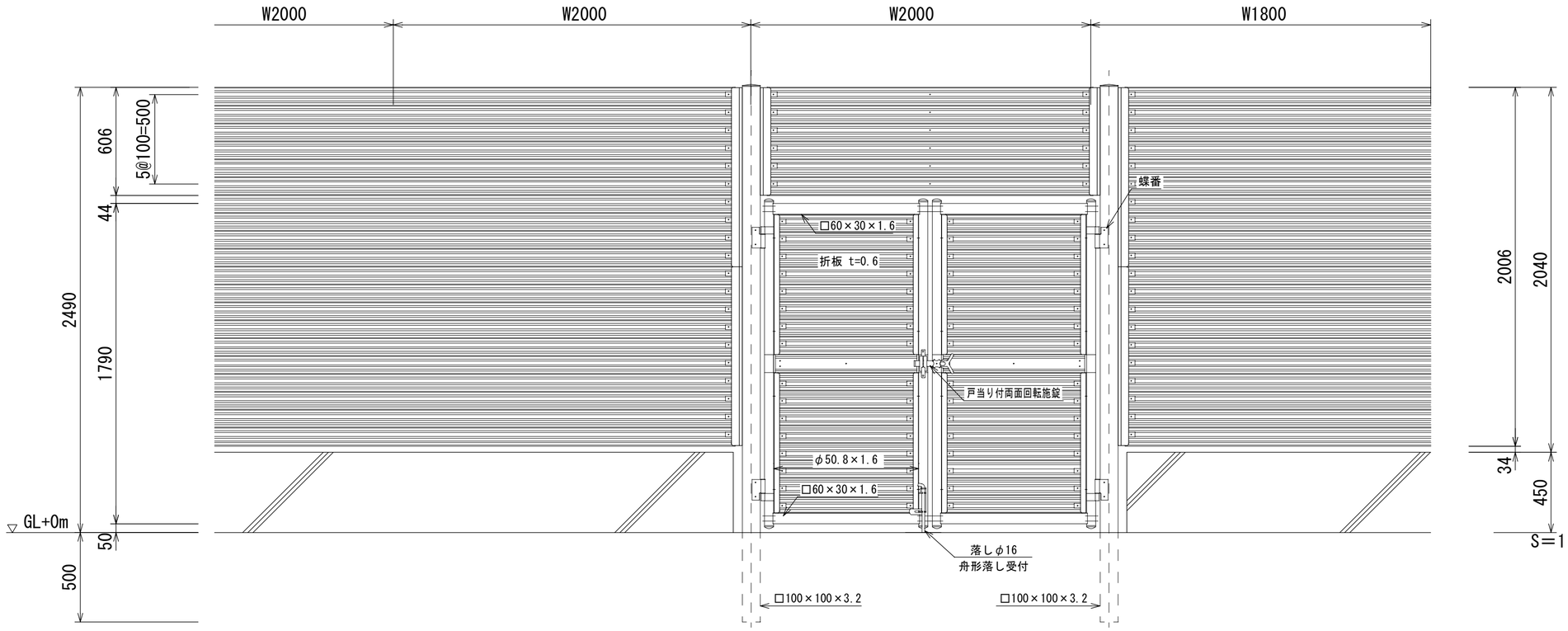
TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図③	SCALE	1：20	CHECK	

No. G 07

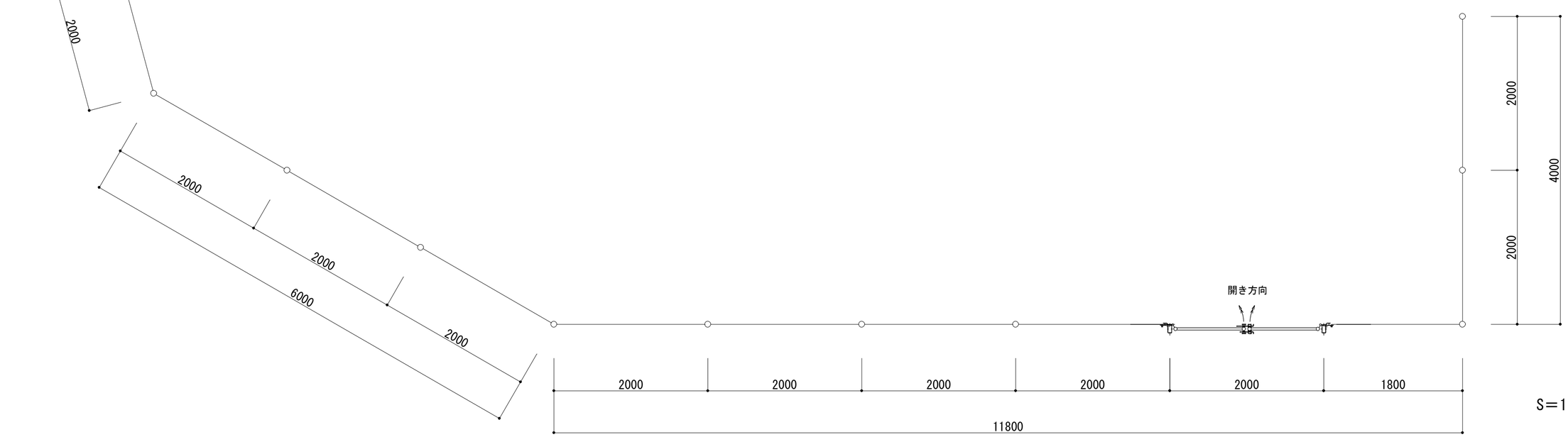
Ⓘ	目隠しフェンス　H＝2040　（屋外設備機器置き場）	S＝1：20
Ⓙ	門扉　H＝1800(両開き)	

参考型番　LVルーバータイプ　H＝2000　＜朝日スチール工業㈱（同等品）＞
参考型番　門扉　両開き　H=1800　　＜朝日スチール工業㈱（同等品）＞

【　25.1m　】
【　1箇所　】



S＝1：20



S＝1：40

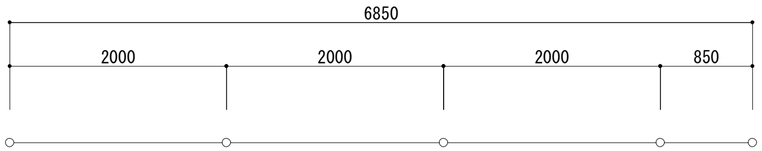
TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図④	SCALE	1：20　1：40	CHECK	

No. G 08

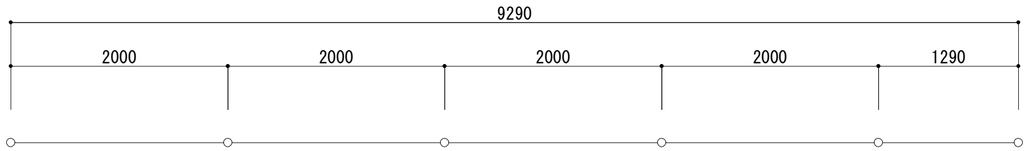
Ⓚ 竹垣フェンス　H=1800　　S=1：5　　S=1：30

参考型番　eバンブーユニットこだわり竹みす垣　H18　<㈱タカショー（同等品）>　2箇所

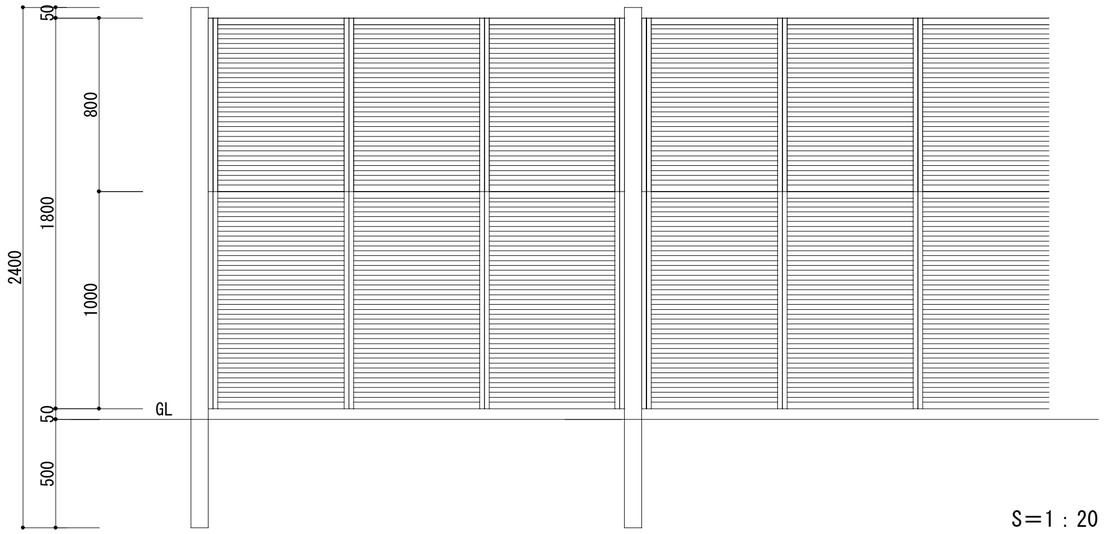
北側【　6.85m　】
南側【　9.29m　】



S=1：40



S=1：40



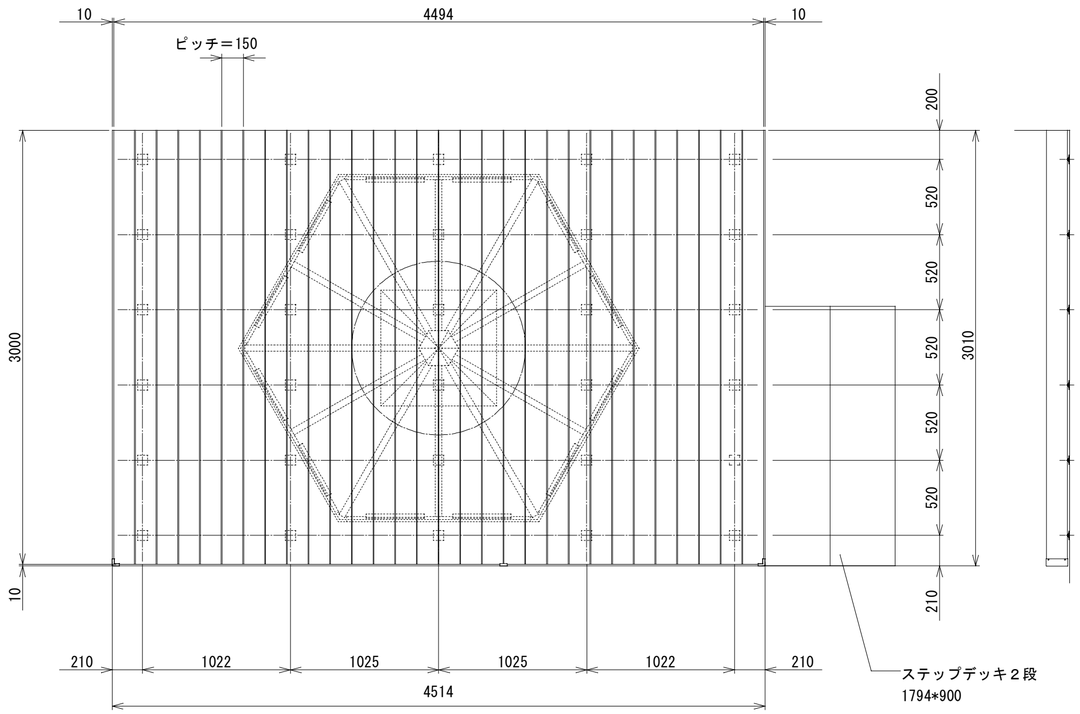
S=1：20

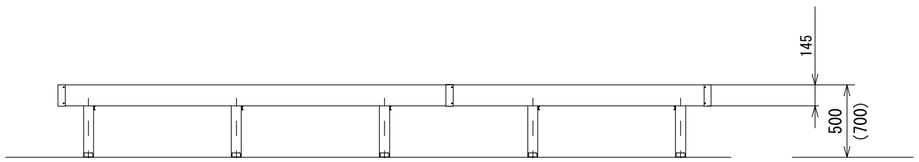
TITLE	ももの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図⑤	SCALE	1：20　1：40	CHECK	

No. G 09

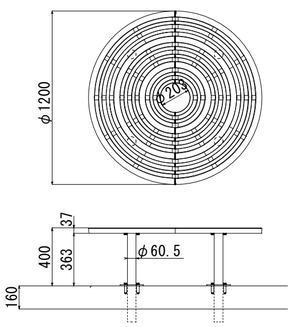
Ⓜ 四阿　＜ファンデッキSG／ペタルパーク／ペタルベンチ＞　S＝1：30

参考型番　ファンデッキSG　ESGB-C2510　＜四国化成建材㈱＞　【 1箇所 】



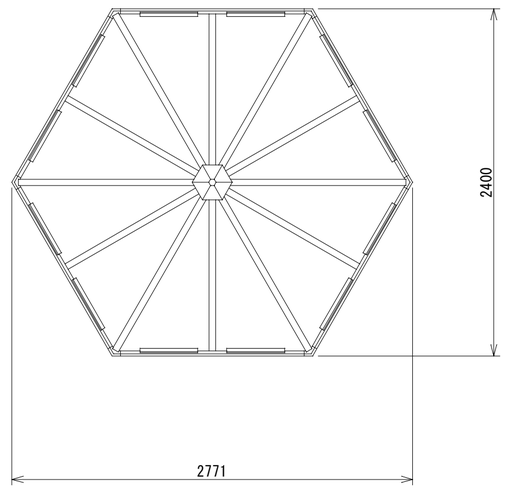


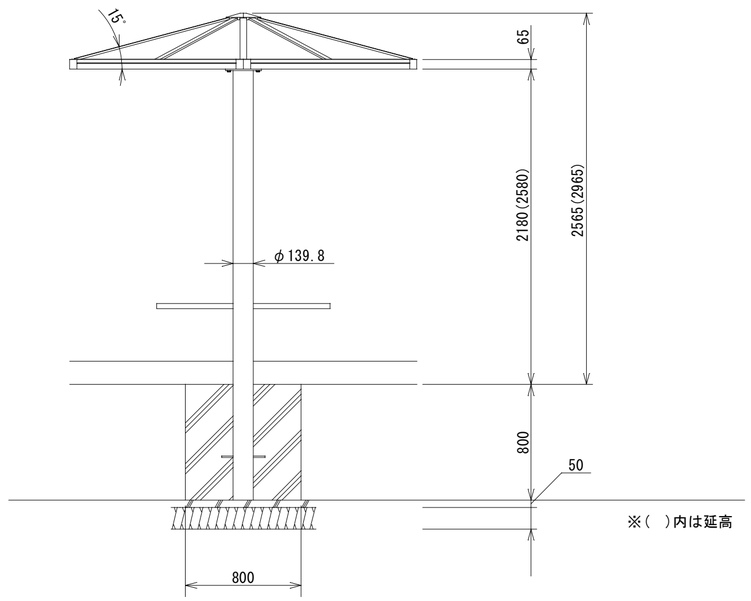
参考型番　ペタルベンチ　PTB-12SC　＜四国化成建材㈱　同等品＞　【 1箇所 】



Ⓜ ペタルパーク　S＝1：30

参考型番　ペタルパーク　PTP-24SC　＜四国化成建材㈱　同等品＞　【 1箇所 】





※（　）内は延高

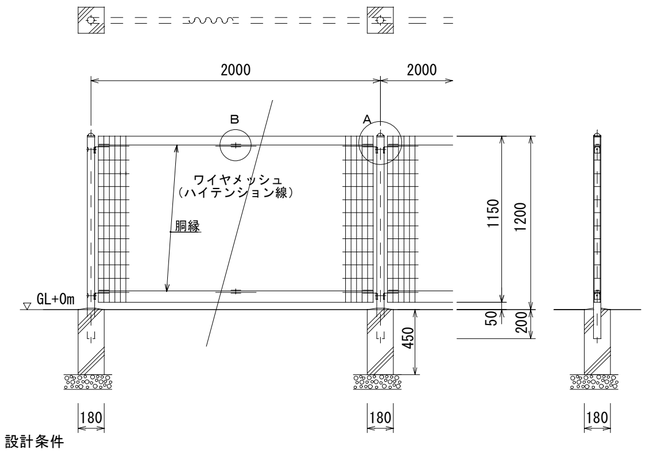
TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図⑥	SCALE	1：30	CHECK	

No. G 10

Ⓛ フェンス工① H=1200　S=1：30

参考型番　AR−A１２００−MS　＜朝日スチール工業㈱（同等品）＞　【 145.0m】
独立基礎【　65基】

（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）



設計条件
　設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
　基礎条件・・・長期許容地耐力 ９８ｋＮ／㎡（１０ｔ／㎡）

備考　１．外装について

・主柱
　パネル取付金具類　・・・　亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上
　高耐候性樹脂粉体塗装

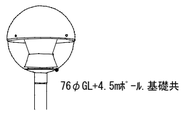
・ワイヤメッシュ
　胴縁　・・・　亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装

・ボルト、ナット類　・・・　溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

Ⓐ 外 灯　S= N：S

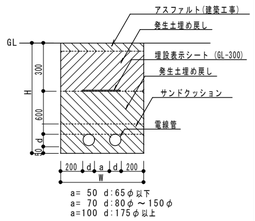
【　5箇所】

同等品:NNY22691LE9+DYDX2409H



光束６８００ｌｍ、消費電力９８Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
温白色、３５００Ｋ、Ｒａ８３、光源寿命6万時間（光束維持率７０%）
本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）
グローブ：ポリカーボネート（透明）
天板：アルミ（ミディアムグレーメタリック）
上方光束比５～１５%、耐雷サージ１５ｋＶ、耐風速６０ｍ
落下防止ワイヤー付

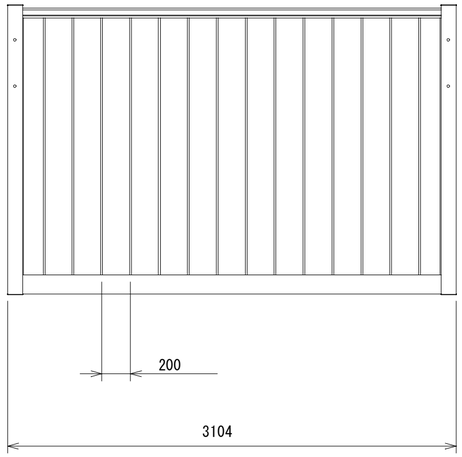
地中埋設管路施工要領例

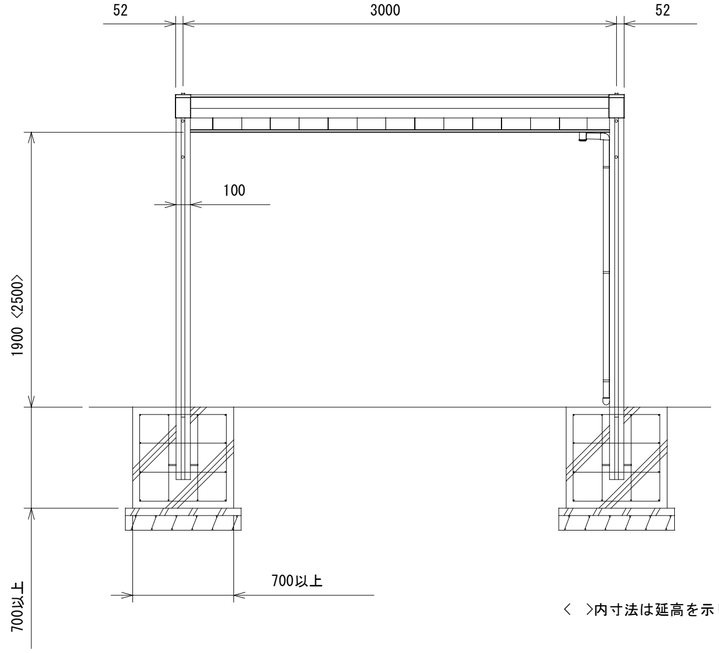


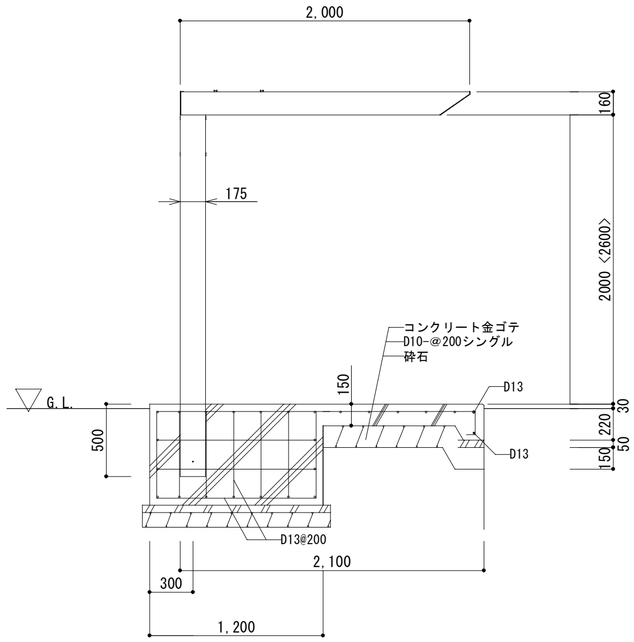
Ⓝ 駐輪場　S=1：30

参考型番　サイクルポートLIFT LFT-2031　＜四国化成建材（同等品）＞　【　1箇所 】

アルミ形材屋根







< >内寸法は延高を示します。

TITLE	もの里温泉改築工事（外構）	MEMO		DATE	
ITEM	外構詳細図⑦	SCALE	1：30	CHECK	

No. G 11